

8

一般事業に関する取組み

この計画には、日本連盟で執行する全ての事業（委員会等の会議開催・管理的事業を除く）を網羅することとし、重点事業以外を一般事業と称し、その一覧をここに示します。この一般事業は、原則として2021（令和4）年度の時点で執行しているもので、2022（令和5）年度以降も引き続き執行するものとなっています。

【組織拡充委員会】

11-10	組織拡充に関する県連盟支援事業
組織拡充に関する支援を希望する県連盟を支援する事業で、2022年度～2023年度は、8県連盟を支援している。また、希望する県連盟を対象にスカウト運動活性化戦略セミナーを開催している。	
11-11	全国組織拡充担当委員長会合
47県連盟を属性に応じて7つのグループに分けてオンラインで3回程度、全国の委員長が一堂に会するハイブリットで1回の委員長会合を開催し、委員長のネットワーク化と情報の共有を行う。	
11-16	「人生の岐路に立つ君へ」事業
高校3年生年代のスカウトを対象に、総長より新しく始まる生活への激励を行うことにより、スカウトのスカウティングに対する興味と関心を改めて喚起することとし、特に進学や就職で転居するスカウトへは新住所地での活動を促す。	
13-01	ワクワク自然体験あそび
全国の全ての団を対象とし、本運動の普及と加盟員獲得を下支えする（各団が行う「体験入隊活動」、「スカウト募集活動」などを日本連盟として支援する）事業で、参加申込みのためのシステムの提供や補助金を交付する。	
21-04	組織拡充顕彰
毎年、全国大会の表彰式において、加盟員の増加、ビーバースカウト隊の設置率などで基準を満たした県連盟、団の登録者数を継続して維持・拡大した団を「組織拡充顕彰」として表彰する。	

【広報委員会】

13-02	全国子ども体験フォーラム
文部科学省が提唱している「令和4～6年度を体験活動推進重点改革3か年」という位置づけに基づき、体験活動の意義や魅力、効果を広く社会に周知する。	
21-06	写真・ムービーコンテスト
第51回となる写真コンテストと、PRムービーコンテストを開催する。加盟員相互の技量の研鑽の場となると同時に、広報宣材の充実に資する。	

21-10	その他広報 (PR ドリームチーム、広報セミナーなど)
PR ドリームチームによる取材・広報活動を実施する。また、広報に関するオンラインセミナーを開催するほか、「富士スカウト」という存在の魅力の周知・広報、その他、主催事業の取材や編集に要する資機材の保守・更新を行う。	
21-09-02	PR 戦略展開 (PR 活動)
ボーイスカウト運動のPRに資する画像・映像を制作するほか、日本連盟の主催事業についての取材や撮影活動を行い、ボーイスカウト運動の魅力为社会に広く発信していく。	
21-09-04	PR 戦略展開 (新ブランディング確立)
現在のスカウト運動について認知度や理解度の調査を行うほか、この運動の価値や魅力の発信方法を見直し、ボーイスカウト運動の改めてブランディングを確立させるための事業を行う。	
22-01	機関誌発行
機関誌「SCOUTING」の企画・制作(編集)及び発行を行い、加盟員に対して様々な事業の最新情報やスカウト運動に関する様々な知見を提供する。	
23	電子媒体 (インターネット)
日本連盟のWebサイト (scout.or.jp) の管理及び更新を行う。令和5年度はWebサイトの構成を見直して、全面的な再構築を行うことを予定している。	
25	ボーイスカウトアプリ制作
スマートフォン用のアプリケーションを開発し、そのアプリとWebサイトとを通じて、加盟員(スカウト・指導者)、保護者、その他ボーイスカウト運動に興味があり支援しようとするすべての人に様々な情報を提供する。	

【社会連携小委員会】

11-13-01	ともに進もう助成事業
経済的な理由によりスカウト活動への参加が困難な日本国内のひとり親家庭等に対して支援金(年間3万円)を給付し、スカウト活動への参加を支援する。	
11-14-01	コラボレーションバッジ
企業・団体のサポートを受け、カブスカウト部門の「新チャレンジ章」を制定する。その企業・団体の得意分野を生かしたプログラム内容、バッジや教材の費用の両面でサポートを得て、コラボレーションプログラムを展開する。	
11-14-02	全国防災キャラバン
未来を担う子どもたちとその保護者を対象に全国のイオンモール等を会場として、有事の際に役立つ「防災」に関する知識やスキルを得ることを目的に日本連盟とイオンが共同で実施する。	
11-14-03	難民支援衣料回収プロジェクト
ユニクロ及び国連難民高等弁務官事務所との連携により使用しなくなった衣類を回収し、世界各地の難民キャンプへ提供の協力をを行う。併せて、スカウトにとっては難民理解の機会とする。	

11-14-04	スカウトと社会をつなぐ場
職業理解の機会を提供することを目的に多くの企業経営者層から協力を得て、ローバースカウト年代を対象に定期的に講演会を開催する。	
11-14-06	資金等獲得事業に関する資料作成
協賛企業等へのご挨拶などに活用する資料の作成。社会から広く、「ヒト・モノ・カネ」の支援を受ける体制を構築する。	
21-01	普及資料の作成
スカウト運動普及のため主に団体案内、ポスター、リーフレット（大人向け・子供向け）を製作し、団に配付。データの PDF をホームページに掲載し、ダウンロードすることも可能となっている。	
21-09-03	Web 広告
より多くの新規加盟員を獲得するために、若い保護者層が利用する媒体、SNS などに広告を配信する。各種イベントの告知などにも活用している。	

【財務委員会（資金醸成小委員会を含む）】

11-12-01	維持会員だより発行
社会から広く、「ヒト・モノ・カネ」の支援を受ける体制を構築し、維持会員への定期的な事業報告及び会費納入の依頼のため、維持会員だより発行年 2 回、各月の維持会費領収書等を発行する。	
11-12-02	維持会員年賀状・カレンダー・機関紙送付
社会から広く、「ヒト・モノ・カネ」の支援を受ける体制の構築、支援者の運動理解促進とご挨拶のため、維持会員、支援団体へのカレンダー・機関誌の送付を行う。	
11-12-03	維持会員感謝盾
社会から広く、「ヒト・モノ・カネ」の支援を受ける体制の構築、支援者への感謝表明による支援継続促進のため、感維持会員表彰用感謝楯などの製作と送付を行う。	
11-12-04	維持会員感謝盾
社会から広く、「ヒト・モノ・カネ」の支援を受ける体制の構築、支援者への感謝表明による支援継続促進のため、維持会員章（金襟章）の製作と送付を行う。	
11-12-05	募金関係ちらし
社会から広く、「ヒト・モノ・カネ」の支援を受ける体制の構築、遺贈寄付、ともすす助成への指定寄付などの拡大、クラウドファンディングの実施などを含む新規支援者の拡大・獲得のため、パンフレット類の作成（加入ちらし等）の作成を行う。	
11-12-06	ファンドレイジング協会登録
社会から広く、「ヒト・モノ・カネ」の支援を受ける体制の構築のため、資金醸成の手法をファンドレイジング協会から学び、准認定・認定ファンドレイザーを数多く生み出し、支援をしたい人と支援を受ける現場を繋げる人材育成に取り組む。	
11-12-07	Web 寄付決済
社会から広く、「ヒト・モノ・カネ」の支援を受ける体制の構築のため、Web での寄付決済システム（2023 年度現在：コングラント）の保守費用とする。	

【プログラム委員会】

11-2-19	RCJ 運営委員会	ローバースカウト同士の情報交換の場の提供や提言活動などを通して、全国のローバースカウトの活動を活性化させ、スカウト運動の発展に寄与することを目的として設置している。
11-2-20	5 団体共同事業（出会いと体験の森へ実行委員会交通費等）	人を育てるキャンプに携わる 5 つの団体（キャンプ協会、YMCA、YWCA、GS、BS）が実行委員会を構成して、5 団体の指導者が各団体の特色ある教育方法を認識し、各自のスキルアップと団体間の交流を深める事業を実施する。
11-2-21	各種委員会【信仰奨励小委員会】	スカウトが明確な信仰を持つことを奨励し、本連盟が行う事業での宗教儀礼を計画・実施する。また、信仰奨励章及び宗教章に関する事項を監督、実施する。
11-17	富士章授与証・記章、記念品等	富士スカウトの申請手続きに基づき、認証と記章・記念品の発給を行う。
11-18	プログラム調査研究	スカウト活動および進歩・進級制度の見直しのため調査研究を行う。
11-19	英国エディンバラ公国際アワード	国際的な体験活動の評価制度であり、海外留学や就職の際にも活用が可能となるよう英国エディンバラ公国際アワードを提供する。
11-20	宗教章授与証	宗教章の授与証の発給を行う。
11-24	RS・VS 部門プログラム検討タスクチーム	社会に出る直前の部門において、自己確立、本運動への奉仕、社会貢献に関する力を養うためスカウトが取り組むべきプログラムや提供するリソース等についての検討と策定を行う。
11-25	ローバースカウト研修	2泊3日のローバースカウトのための研修で、災害ボランティアシミュレーションなど社会への貢献活動の実例を学び、ワークショップ形式により具体的活動を体験する。
12-01	スカウトの日	地域清掃や植林活動、社会福祉施設の訪問など敬老の日にちなんだ活動、人権・平和・国際理解をテーマとした活動、地域のニーズによる地域の方々と共に行う身近な奉仕活動、持続可能な開発目標（SDGs）を達成するための活動などの実施を奨励する。
15-06	富士スカウト代表表敬・検証	富士スカウト章取得の努力をたたえ、赤坂東邸への表敬訪問、首相官邸及び文部科学省への今後の一層の活躍を期待して代表表敬を行う。
15-09	スカウトソングタスクチーム	活動中のスカウトソングの活用や技能章「スカウトソング章」取得に繋がるプログラムヒントやコンテンツを制作し、ウェブサイトにて公開する。また、ソングフェローの協力を得て、今のスカウトに馴染みやすい曲想による新音源を制作し、ウェブサイトにて公開する。

15-10	全国スカウトフォーラム
2022 年度に開催した全国スカウトフォーラム後の活動状況について、各県連盟ごとの取り組み状況を確認して、次年度フォーラムに向けた準備を行う。	
15-11	RCJ-ROUTE (野営大会)
野営大会を持続的な事業とすることにより、野営大会の価値の向上とローバースカウト部門の発展に寄与し、併せて、ローバースカウト活動の目標を達成し、より良き社会人としての意志を高める。	
21-11	キッズフェスタ出展
子どもを対象とした様々な体験活動の場を提供し、その面白さや楽しさを味わうことを通じて、積極的に自然体験や生活体験等に取り組む気持ちを醸成することを目的として国立青少年教育推進機構が開催する「キッズフェスタ」に協力団体として出展する。	
22-02	出版物刊行
図書、雑誌等の刊行（日本連盟規程集令和5年版、BSリーダーHB、VSリーダーHB、スカウトハンドブック・ベーシックなど）や電子媒体による情報の発信を行う。	
41-14	JOTA-JOTI
世界スカウト機構が主催する公式国際行事で、スカウトがアマチュア無線行事やインターネットを利用した行事に参加し、電波やインターネットを通じて国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的とする。	

【A I S委員会】

31-02-01	指導者養成体制の充実(サポートツール開発)
隊指導者・団指導者を定型訓練以外の方法で支援するためのツールを開発する。	
31-02-02	指導者養成体制の充実(検討課題の作業部会)
①指導者のリクルート、②任務中の支援の促進、③コミッショナー任務別研修団担当コミッショナー課程の開発、④ローバースカウト隊指導者訓練の開発、⑤ビーバースカウト部門の指導者訓練体系見直し、⑥更新研修・任務別研修について、あり方を検討する。	
31-02-03	指導者養成現状把握及び支援
県連盟における指導者養成の現状を把握し、必要な県連盟に対しては日本連盟から講師の派遣や指導者研修の日本連盟直轄開催等により支援を行う。	
31-03-01	県連開設指導者訓練補助 (ボーイスカウト講習会)
県連盟が開設する「ボーイスカウト講習会」に財政的支援を行う。	
31-03-02	県連開設指導者訓練補助 (ウッドバッジ研修所)
県連盟が開設する「ウッドバッジ研修所」に財政的支援を行う。	
31-03-03	県連開設指導者訓練補助 (団委員研修所)
県連盟が開設する「団委員研修所」に財政的支援を行う。	
31-03-04	県連開設指導者訓練補助 (コミッショナーベーシックトレーニング)
県連盟が開設する「コミッショナーベーシックトレーニング」に財政的支援を行う。	

31-03-05	県連開設指導者訓練補助／（コミッショナー任務別研修地区コミッショナー課程）
県連盟が開設する「コミッショナー任務別研修地区コミッショナー課程」に財政的支援を行う。	
31-05-01	日本連盟開設訓練コース（ウッドバッジ実修所）
隊指導者基礎訓練課程を修了した者を対象として開設し、参加者が当該部門の隊長としてのプログラム推進能力を高めることを目的に開設する。	
31-05-02	日本連盟開設訓練コース（団委員実修所）
団委員基礎訓練課程を修了した者を対象として開設し、参加者が自団の問題解決や将来に向かっての施策を推進する能力を高めることを目的に開設する。	
31-05-03	日本連盟開設訓練コース（リーダートレーナーコース）
日本連盟の指導者訓練の方針と訓練体系を理解し、各種の指導者訓練、特に定型外訓練の企画及び実施するための知識、技能を身に付けることを目的に開設する。	
31-05-04	日本連盟開設訓練コース（副リーダートレーナーコース）
日本連盟の指導者訓練の方針と訓練体系を理解し、各種の指導者訓練、特に導入訓練及び基礎訓練を実施するための知識、技能を身に付けることを目的に開設する。	
31-05-05	日本連盟開設訓練コース（ウッドクラフトコース）
隊指導者上級訓練課程の訓練を修了した者を対象として開設し、参加者がスカウト技能を活用したプログラム開発能力を身に付けることを目的に開設する。	
31-05-06	日本連盟開設訓練コース（コミッショナー任務別研修県コミッショナー課程）
県連盟コミッショナーの任務を理解し、その任務を遂行するために必要な能力を身につけることを目的に開設する。	
31-05-07	ウッドバッジ実修所・団委員実修所所長研修
リーダートレーナーの中から日本連盟より推薦された第二教程の所長候補者を対象として開設し、当該訓練の所長を養成することを目的に開設する。	
31-06-01	県連盟ディレクター研修会
日本連盟と県連盟、県連盟同士で情報共有を行うことにより県連盟トレーニングチームのレベルアップを図ることを目的に開設する。	
31-06-02	トレーナー研究集会
リーダートレーナーと副リーダートレーナーを対象に開催し、トレーナーの能力向上と資質の維持を図ることを目的に開設する。	
31-06-03	実修所所長主任会議、WCC 主要スタッフ会議
ウッドバッジ実修所、団委員実修所、ウッドクラフトコースの開設準備と円滑なコース運営に資することを目的に開設する。	
31-06-04	新任副リーダートレーナー研修会
新たにトレーナーになる方を対象として、トレーナーとして求められる知識・技能・心構えを伝え、今後、ボーイスカウト講習会の主任講師や研修所の所長に必要な知識を学ぶことを目的に開設する。	

15-07	スカウトソング研修会の開催
スカウトソングを歌うことを通して楽しさや喜びを体験し、プログラムの中に歌を導入する重要性を認識し、様々な場面におけるソングの活用方法や指導方法を学ぶことを目的に開設する。	
15-08	スカウトソングワークショップの開催
県連盟または地区が主催するスカウトソングに関する研修会を円滑かつ効果的に開催するために必要とされる知識や技能を身に付けることを目的に開設する。	

【共済委員会】

16-01	共催事業
共済保険事業のほか、セーフ・フロム・ハーム e ラーニングやセーフ・フロム・ハーム推進フォーラム、安全促進フォーラムを開催する。	

【特別委員会・その他】

15-02	第 19 回日本スカウトジャンボリー
第 19 回日本スカウトジャンボリーの準備を進める。	
15-03	第 13 回日本アグーナリー
第 13 回日本アグーナリーの準備を進める。	
31-01	全国大会
毎年、5月に社会への本運動の理解を広めるとともに加盟員の研鑽の場、情報交換の場として開催する。	
41	国際理解促進・国際協力事業
第 25 回世界スカウトジャンボリー（韓国）への派遣、日韓スカウト交歓・CJK ベンチャープロジェクト等を開催する。	